風だより（2026年1月）

社会福祉法人 将友会
風の丘・上大岡東保育園
TEL 045-846-3938
FAX 045-846-3992

『年の瀬のご挨拶』

2025年も残すところあとわずかとなりました。保護者の皆さまには、本年もたくさんのご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。12月は子どもたちにとっても楽しいイベントがたくさんあった月でした。中でも、12月24日のクリスマス会は、全クラスが参加し、にぎやかで笑顔あふれるひとときとなりました。子どもたちの歌やダンス、保育者による出し物も加わって、園全体が温かい空気に包まれていました。当日はサンタクロースも登場し、「これからどこ行くの？」「ひげ、さわってもいい？」と、目を輝かせながら話しかける子どもたちの姿に、私たち職員も思わず笑顔に。ともだち同士で顔を見合わせてニコニコするまなざしに、改めて子どもたちの育ちの純粋な姿を感じる時間でした。

年が明けると、いよいよ子どもたちが楽しみにしている「おたのしみ会」がやってきます。今年も、子どもたち自身の「やってみたい！」という気持ちを起点に、日々のサークルタイムを通して話し合い、少しずつ内容を形にしてきました。創りあげる過程が学びと成長の証。保護者の皆さまには、当日、そのプロセスのひとつひとつに温かく目を向けていただきながら、子どもたちの表現を一緒に楽しんでいただければと思っております。また1月には、伝承遊びに触れる「お正月ウィーク」や「お正月の会」も予定しています。初めて体験する遊びに、どんな反応を見せてくれるか…今から私たちも楽しみです。寒さが厳しくなる時期ではありますが、来年も子どもたちと共にあたたかく、笑顔あふれる毎日を積み重ねていきたいと思います。

2026年も、どうぞよろしくお願いいたします。

園長 前田一徳

1月の予定

1/ 9(金)	お正月の会
1/14(水)	避難訓練
1/17(土)	お楽しみ会（3～5歳児クラス）
1/21(水)	防犯訓練

お正月あそびについて

年明けにお正月あそび（伝承あそび）を行います。”福笑い”や”こま”などのコーナーを作り、自由に遊ぶ時間を設けます。9日（金）のお正月あそびの会は、十二支の歌や獅子舞が登場してお正月の雰囲気を楽しみたいと思っています。

クラスで人気の本

きりん組	・ざんねんないきもの
ぱんだ組	・ミッケ
	・りんごかもしれない
こあら組	・でんしゃずかん
	・くれよんのくろくん
うさぎ組	・おたすけこびと
りす組	・やさいさん

～お知らせ～

寒くなるこの季節、たくさんの感染症が流行します。インフルエンザなど、予防接種を受けていても感染してしまうこともあります。手洗い・うがいはもちろん、日々の生活リズムにも注意していきましょう。また、たくさん身体を動かすと冬でも汗をかくことがあるため、衣服の調節も忘れずに。感染症の診断が出た場合は早めに園にご連絡いただくようお願いいたします。

今年度購入した絵本の紹介

・ホタルの光をつなぐもの
・みそができるまで
・たんぽぽ
・はっけんずかん
・さかなずかん
・空と仲良くなる
・やさいさん
・たなばたものがたり
・くだもの ららら ん
・まねっこどうぶつえほん
・つん こん ぱっ
・かめかめたいそう
・ある星の汽車
・いちじくにんじん
・おりがみにんじゃ
・にんにんにんじゃ
・うかぶかな？しずむかな？
・のりもの777
・くるまずかん
・でんしゃずかん
・きのこってなんだろう？
・落ち葉
・どんぐり
・びっくりまつぼっくり

※園の絵本は毎日貸出しをしています。送迎時にお子さんと一緒にご利用ください。

クラスだより（2026年1月）

日に日に寒さが増していますが、外に出るのが大好きなりす組さんは毎日元気に外で遊んでいます。コンビカーがお気に入りでそこに集めた石を入れたり、きれいな葉をいれたりしてあっちにこっちにと運んでいます。12月中旬には保育室の模様替えをしました。粗大遊び（＝体全体を動かす遊び）やソファの場所が変わったり、押入れ下の秘密基地が広くなったり、パーテーションの位置が変わったり、新鮮さや解放感を感じているようです。新しい空間に刺激され、子どもたちの遊びがまた広がっています。また、風邪や感染症が流行する時期ですが健康に過ごすことができるよう見守っていきます。

寒い日が続き、鼻水が出ていたり咳をしている様子が見られているうさぎ組さん。保育者の心配をよそに「うわぎいらないよー」と元気いっぱいに遊んでいる姿が見られています。友だちとの関わりを楽しんでいたり、さまざまな道具を組み合わせて独自の遊びを発掘したりと自分たちで遊びを楽しむ姿に成長を感じています。 お正月を迎え、普段より多くの人と時間を過ごすお友だちもいるかと思いますが、ゆっくり休みお家の方との楽しい時間をまた保育園に登園したときに教えてもらいたいと思います。

気温が下がると共に感染症が心配な季節になりますが、手洗いやうがいをしっかりおこなっていきたいと思っています。12月にラキューでの遊びを始める時に、きりん組のお兄さんに来てもらい遊び方を教えてもらいました。作り方を理解したうえで始めたことで、細かいパーツの組み合わせを黙々と繋ぎ合わせて遊んでいます。付属品のカチューシャを飾り付けてティアラを作ったり、輪つなぎにしたりするなど工夫して遊んでいます。これからも分からない部分があった時にはお兄さんに聞きに行ったりしながら、新しい形に挑戦していってもらいたいと思います。お正月明けすぐに行われ「るおたのしみ会」では、お気に入りの遊びの紹介や、言葉あそび、ゲームなどを楽しみ日頃の園での様子を見ていただく時間にしたいと考えています。

朝夕の気温差が激しく、体調管理が難しい日々が続いていますが、子どもたちは元気いっぱいに園庭を走り回り、気温が低い中でも汗をかくほどに氷鬼で体を動かしています。氷鬼では自分たちでルールを決めて、鬼と逃げる子を決めていくなど友だちと共有しながら楽しく遊べるように工夫をしている姿が見られます。子どもたちの心の成長が楽しい遊びへと繋がっています。また、ロボットカミィの制作が盛んになっています。友だちと協力しながら作ることは、イメージを共有する難しさがあり、時には思いがぶつかってしまうこともありますが、友だちと一緒だからできたという達成感を感じていくことで仲間意識が深まっているように感じています。今後も子どもたちの発信を中心に保育を行っていきます。

寒さを感じながらも身体を動かして遊ぶ事が好きなきりん組。氷鬼ではそれぞれが鬼を体感し、色々感じたようでルールを自分たちで変更していました。話し合いを通し、皆が楽しめるよう考え、友だちとの関りを深めている様子が感じられました。おたのしみ会の準備を頑張っているきりん組です。一番楽しかった行事を自分たちなりの表現で発表するそうです。それに向け皆で話し合い進めています。保護者の方と保育園で時間を共有する事を今から楽しみにしている子ども達です。